

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

愛知県立豊田東高等学校（総合学科）は、環境教育、国際理解教育、地域連携教育を3つの柱としてESDを推進している。

主体的かつ総合的な活動のできる人材育成を目指して、学校外の諸機関と連携して、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力、課題解決のためのスキルを身に付けるようにしている。また、2月には全校で「総合発表会」を開き、1年間の学びを全校生徒で共有している。

さらに、本年度は「高校生ESDコンソーシアム in 愛知」などで県内の多くの高校生とお互いの取組を発表し合い、意見交換を行った。「ユネスコスクール世界大会高校生フォーラム」の代表生徒は、ESDの普及・啓発を含む数々のイベントで成果発表を行った。

本年度は、ESD推進拠点校として、学び合いや発表の場が学校の外へさらに広がった1年間であった。

以下に、本校の主な活動内容について、冒頭に述べたESDの3つの柱を含め、項目別にまとめて示す。

ア 環境教育

豊田東高校は文部科学省の事業であるSPP（サイエンス・パートナーシップ・プログラム）を利用して、外部研究機関と連携した環境教育を実施している。地域の研究機関である豊田市矢作川研究所、名古屋大学などの学術機関、矢作川水系森林ボランティア協議会や矢作川森林塾などの有志団体と連携を図っていることが特徴である。校舎の横を流れる「矢作川」をテーマに、野外調査を基本とした探究活動を実施している。

〔主な取組〕

I SPPの取組

- ① 8月6日（水）矢作川「川の健康診断」～窒素循環の視点を含めて～
場所：矢作川中流～上流域
内容：身近な環境である矢作川の水生物調査を行った。特定外来生物に指定されているカワヒバリガイや要注外来生物として注意喚起されているオオカナダモの採集を行ったほか、これらの外来生物の繁殖にも関与する窒素成分等の水質調査を行った。
- ② 8月7日（木）野生生物との共存～里山で獣害を学ぶ～
場所：愛知県農業総合試験場、豊田市小原地区
内容：昨年度の1年生が「生物基礎」で取り組んだ獣害問題の現地調査。イノシシを捕らえる罠を実際に見学したほか、小原地区に移動して、現地の方と対話を行った。また、下草刈りなど、緩衝帯をつくる作業も体験した。
- ③ 8月18日（月）豊田市足助地域における「森の健康診断」
場所：豊田市梨野町 鈴木政雄さん（スヤマ林業）私有林
内容：間伐遅れの人工林は一見すると緑豊かであるが、中に入るとうっそうとして光が差し込まないため、地面にはほとんど植物がなく、土がむき出しになっている。山主さんや森の名手（矢作川水系森林ボランティア協議会の方々）と対話しながら、森の健康状態を診断する。

- ④ 12月6日(土) 有機肥料の養液栽培実験
場所：野菜茶業研究所
内容：有機肥料の利用は土の栽培では当たり前であるが、養液栽培(水耕栽培)では一般に化学肥料しか使うことができない。養液に有機肥料を添加した場合、有機物は腐敗するだけに終わり、生じるアンモニア等の有機成分が作物の根に障害を与えてしまうからである。有機物の徐添加による馴化培養により有機養液栽培を成功させている事例を体験し、土づくりならぬ「水づくり」を行う実験を通して、有機養液栽培の真髄を学んだ。

Ⅱ 1年生「産業社会と人間」での取組

- ① 10月20日 講演会「未来につづく河畔林の整備」
講師：NPO 法人矢作川森林塾 碓伸夫氏
国土交通省豊田市河川事務所 小林智氏
対象：第1学年(240名)
場所：本校プレゼンテーションルーム
- ② 10月27日 野外活動「せせらぎ協働プロジェクト～豊田東高校の裏庭を考える～」
協働団体：NPO 法人矢作川森林塾，国土交通省豊田市河川事務所，
豊田市矢作川研究所
参加者：第1学年(240名)
場所：矢作川河畔 御立公園
- ③ 11月9日 グループディスカッション，プレゼンテーション「せせらぎプロジェクト」
講師：NPO 法人矢作川森林塾 碓伸夫氏
国土交通省豊田市河川事務所 小林智氏
対象：第1学年各クラス(40名×6クラス)
場所：本校各クラス教室
- ④ 11月21日 学年プレゼンテーション「地域環境研究を通して、地域への関わり」
東海地区高等学校総合学科教育研究大会において、研究授業として生徒代表が成果を発表。

Ⅲ 国際理解教育

豊田東高校は、オーストラリアパスコベール女子高等学校との姉妹校交流やマレーシアへの海外修学旅行など、国際理解教育が盛んな学校である。パスコベール女子高とは、昨年度から文通交流も開始し、活発に行われている(月1回のペースで手紙をやり取りする交流)。

〔主な取組〕

- ① 4月～10月 総合的な学習の時間を利用して、異文化理解研究を実施。
マレーシアの文化について調査・探究し、現地での交流計画を立案。
対象：第2学年(240名)
- ② 7月14日～22日 オーストラリア，パスコベール女子高等学校の本校への訪問
来校者：代表生徒9名，引率教員2名
- ③ 10月14日～17日 マレーシア海外修学旅行
対象：第2学年(240名)

ウ 地域連携教育

豊田東高校は、豊田市中心の桜町本通り商店街との連携をはじめ、様々な地域連携事業に参画している。桜町本通り商店街との連携では、ビジネスプランの生徒が街路灯用のフラッグを制作した。また、美術部、書道部の生徒が同商店街に灯すあんどんの絵付けを行い、これは本校の総合発表会（2月）のフットライトとしても利用された。

調理・栄養プランの生徒は、獣害問題にもなっているイノシシの肉やミネアサヒの米粉（地産地消）を利用した料理やお菓子を考案した。

以上のように、本校の地域連携は、部活動によるボランティア参加のほか、各科目選択プランの授業実践の場として機能している。

〔主な取組〕

- ① 5月25日 ふれ愛フェスタ 2014
内容：駅前商店街の活性化イベントにおける催し物の企画・運営
参加者：保育プラン（40名）、服飾プラン（6名）、写真科学部・科学班（11名）、美術部（5名）、JRC部（30名）、家庭部（39名）
場所：桜町本通り商店街
- ② 6月8日、8月8日、11月8日、3月8日 チーム八日市
内容：桜町本通り商店街において、毎月8日に開かれる「八日市」が学校休業日と重なったときに、販売補助や部活動の野外発表を実施
参加者：常時20名規模の有志参加に加え、8月は合唱部、11月は吹奏楽部、3月は箏曲部が野外コンサートに参加
場所：桜町本通り商店街
- ③ 9月27日、28日 とよた産業フェスタ 2014
内容：産業フェスタにおける催し物の企画・運営
参加者：JRC部、美術部、調理・栄養プラン
場所：豊田スタジアム

エ 校内研修及び授業実践

豊田東高校は、平成25・26年度国立教育政策研究所の研究指定校として、ESDに関する研究を行った。研究主題は「新学習指導要領を踏まえた総合学科におけるESDの体系的な推進及び各教科等における効果的な指導と評価の在り方に関する研究」である。これを受けて、各教科でESDの視点を取り入れた授業実践を展開した。

〔主な取組〕

- ① 11月21日 平成25・26年度国立教育政策研究所教育課程研究指定校事業（ESD）成果発表会（東海地区高等学校総合学科教育研究大会を同時開催）
国立教育政策研究所及び愛知県教育委員会の学校視察。授業実践の例として、7つの研究授業を実施した。
 - ・国語科 古典「歴史を越える漢字の多様性、連携性、創造性を考察する」
 - ・公民科 現代社会「『世論と政治参加』から、社会の中で主体性をもって生きることの重要性を考える」
 - ・数学科 数学A「図形の性質～協同的な学習を通じた平面図形の問題解決～」

- ・理科 物理基礎「『エネルギーの変換と保存』からエネルギー問題を考える」
- ・美術科 鑑賞研究「葛飾北斎を通して日本の伝統文化を学ぶ」
- ・英語科 異文化理解「Think about Marriage~Problem-Solving-Learning」
- ・産業社会と人間 「地域環境研究を通して、地域へのかかわりを考える」

② 2月6日 国立教育政策研究所教育課程研究センター関係指定事業研究協議会における研究発表

オ 生徒・教員による成果発表、報告など

豊田東高校は、ユネスコスクール世界大会高校生フォーラムに中部地域のユネスコスクール代表として参加させていただいた。これを受けて、生徒・教員ともに数多くの場面で取組・成果を発表する機会をいただき、ESDの理念の普及に努めている。

〔主な発表・報告等〕

① 11月4日、5日 地域交流会 [Exchange day in local school communities]

ユネスコスクール世界大会には、海外からは31か国（31チーム）、日本からは7地域（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国・九州）の代表と準備地域（岡山、大阪）を加えた9チームが参加した（各チームは生徒4名、教員1名で構成）。海外チームは、日本の各地域で「地域交流会」を実施した後、それぞれ日本代表チームと一緒に岡山に参集した。

豊田東高校は、ドイツ、オマーン、ハイチ、タイの4か国を迎え、豊田市、ESD研究者、さらに地域で活躍する有志団体と連携した地域交流会を開催した。

・都市（まち）の取組（平成26年11月4日午前）

豊田市は、「環境モデル都市」として低炭素社会の実現に向けた先駆的な取組を行っている。その取組を紹介するモデル地区「とよたエコフルタウン」において地域交流会を実施し、最新の科学技術を応用した持続可能な未来への取組を体験した。

・農山村（いなか）の取組（平成26年11月4日午後）

豊田市里山くらし体験館「すげの里」を拠点として、持続可能な社会へのヒントとなるいなかの暮らしを体験するエクスカージョンを行った。

② 11月6日、7日 高校生フォーラム [ASP Platform for Students]

11月6日の午前には、4会場に分かれて各代表チームによる7分間のプレゼンテーションが行われた。持続可能な社会の実現のために各校が活動してきたことや、それを通して得た個人的な体験などを紹介することで、次のディスカッションにつながる話題を提供し合った。

11月6日の午後は、「持続可能性を阻害しているもの」及び「持続可能性を促進しているもの」というテーマについて、2つの会場に分かれて議論を行った。

11月7日の午前は、前日に話し合われたことを踏まえて「私たちが叶えていける社会・そのためには」というテーマで全体ディスカッションが行われた。ファシリテーター（議長）をはじめ、運営はすべてユネスコスクールの生徒たちによるもので、「競争」ではない「共創」的ディスカッション [Co-creative Discussion] が展開され、活発な意見が交換された。

11月7日午後、各代表チームから1名ずつのメンバーが集い、2日間の発表・議論で話し合ったことを草案としてまとめた。起草された草案は、全体会での承認を受けて「共同宣言」となった。

③ 11月9日 皇太子殿下下行啓

ESDユネスコ世界会議に御臨席するために愛知県入りした皇太子殿下に本校のESD活動を御視察いただきました。展示パネルによって本校の概要を紹介した後、ユネスコスクール世界大会から戻ってきた生徒たちによる報告、議論、発表活動を行っている授業の様子を御覧いただきました。

④ 11月2日, 3日 2014 高校生ESDコンソーシアム in 愛知 (ポスターセッション及びワークショップ)

発表者：1年生代表生徒 (3名)

場所：名古屋大学豊田講堂

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()